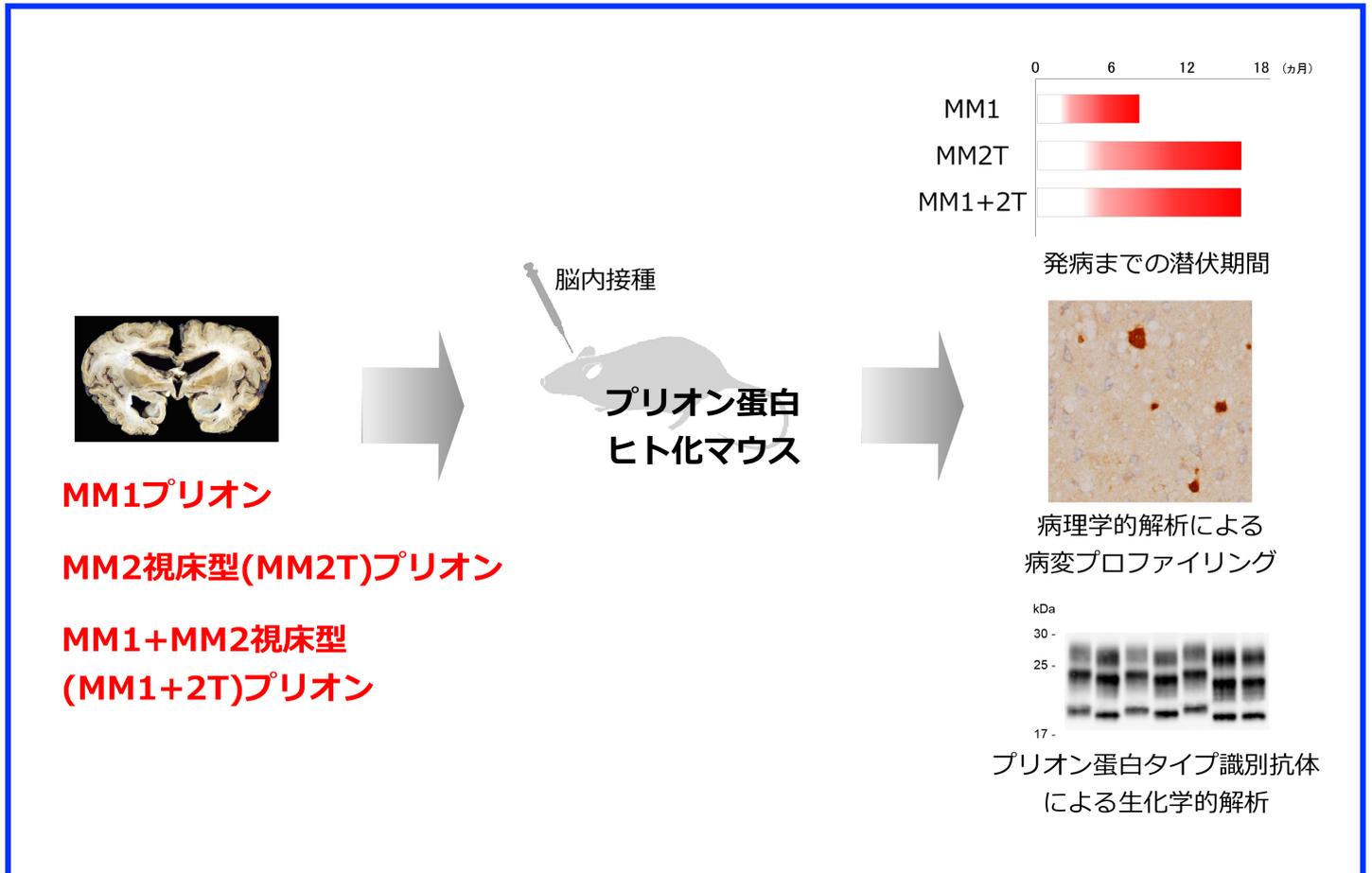


感染性に基づくクロイツフェルト・ヤコブ病の分類

研究開発分担者： 北海道大学大学院獣医学研究科比較病理学教室 小林篤史



解 説

1. 平成27年度までに、MM1プリオンとMM2視床型プリオンが混在する症例(MM1+2T)が存在することを明らかにした。
2. 平成28年度はプリオン蛋白ヒト化遺伝子改変マウスを用いて、MM1+2Tプリオンの感染性がMM1やMM2Tプリオンと異なるのかを評価した。